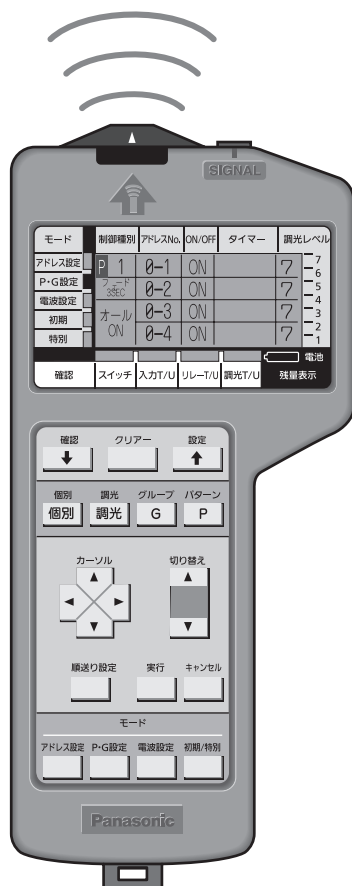
Panasonic®

フル 2 線式リモコン 小形パターン・グループ設定器 (アドレス設定機能付)(電波設定機能付)

取扱説明書　保管用

品番 WRT 9630

●ご採用ありがとうございました。
●取扱説明書をよく読み、正しく安全にお使いください。
●取扱説明書は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

禁　止

- **修理や分解・改造をしない**
  感電・火災・故障の原因になります。
- **巻き込まれる可能性がある機器の周辺では使用しない**
  ケガや事故の原因になります。

⚠注意

禁　止

- **ショートさせたり、火中に投入しない**
  発熱・破裂によるケガの原因になります。
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない**
  液漏れ・発熱・発火・破裂などをおこし、ケガの原因になります。
- **水のかかる場所で使用しない**
  発煙・発火の原因になります。

使用上のご注意

- 商品をご使用いただくには、あらかじめフル2線式リモコンに関する知識が必要です。別途、フル2 線式リモコンのカタログ・技術マニュアルをご覧ください。
- アドレス設定、電波設定およびバックライト点灯にはアルカリ乾電池〔市販〕が必要です。
- 裏面の電池ボックスに単三形アルカリ乾電池(1.5 V ×４本)を入れてください。
  ※乾電池交換時は、必ず４本とも交換してください。
- 乾電池は早めに交換してください。
- 電池残量が少なくなると正しく設定できなくなります。
- 長時間使用しない場合や、乾電池を使いきった場合は、乾電池を取り出してください。
- 乾電池を入れないで使用すると、フル２線信号や商用電源が瞬時停電(0.3 秒以上)した場合、編集中のデータが消えたり操作が無効になる場合があります。
- 本器の汚れは、乾いた布でふき取ってください。シンナーなどを使用すると、変色したり、表面の光沢が損なわれる場合があります。
- 複数の設定器を用いて同時に電波設定を行わないでください。
- 送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため本器は医用電気機器から 20 cm 以上離して使用してください。

付属品

●取扱説明書(本誌) ･････････････････････ １冊
●付属ケーブル（フル２線信号）･･･････ １本
●吊り下げ用紐 ･････････････････････････ １本
●本体収納袋 ･･･････････････････････････ １枚

もくじ

ご使用前に

設定方法

お知らせ

電波設定に関する商品名の定義について

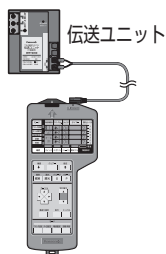
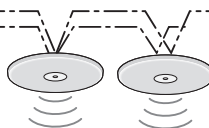
電波設定の説明に出てくる商品名について、
本誌では以下のように定義しています。

- ワイヤレス受信器，受信器 … ワイヤレス受信器（電波設定式）（WRT1400など）
- 電波設定式端末 … 電波アドレス設定式端末（WRT1130 など）

本器の主な機能と特長

本器は、フル２線システム上でスイッチと照明のネットワークを構築するための基本となる、スイッチ・T/U への「アドレス設定」、複数の照明を一つのスイッチで一括制御するための「グループ制御内容の設定」、「パターン制御内容の設定」、および電波設定式端末を制御するための「電波設定」を行うことができます。

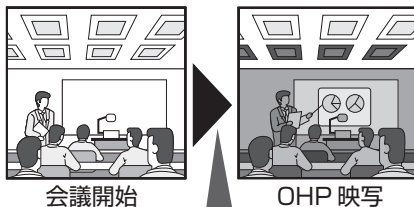
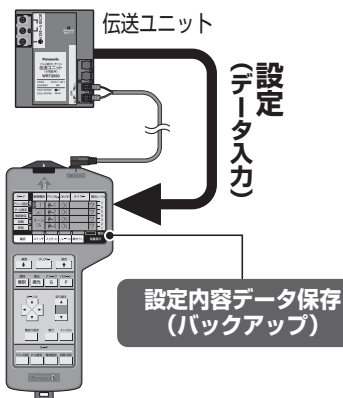
1 パターン・グループ(P・G)設定／アドレス設定／電波設定ができます。

本器一台でスイッチ・T/U へのアドレス設定と、伝送ユニットへのパターン・グループ制御内容の設定と、ワイヤレス端末への電波設定ができます。

2 液晶画面で編集ができます。

パターン・グループ制御内容の設定・変更を液晶画面上で行うことができます。

3 フェード機能が設定できます。

照明の明るさを徐々に変え（フェード）、目的のシーンへスムーズに切り換えます。

＜例＞会議室での使用例

4 パターン・グループ(P・G)制御の設定内容のバックアップができます。

本器の機能一覧

ご注意！ 電源スイッチを入れると「パターン・グループ（P･G）設定」モードで立ち上がります。
他のモードをご使用の場合は、モードを切り換えてください。

■アドレス設定

＜アドレス設定モード初期画面＞
スイッチ・T/U の機能とアドレスNo.の確認・設定（☞ 12 ～ 19 ページ）

■パターン・グループ（P･G）設定

＜パターン・グループ（P・G）設定モード初期画面＞
システムのパターン・グループの制御内容の確認・設定（☞ 20 ～ 27 ページ）

■電波設定

＜電波設定モード初期画面＞
電波設定式端末への各種設定
（☞ 28 ～ 35 ページ）

■初期設定

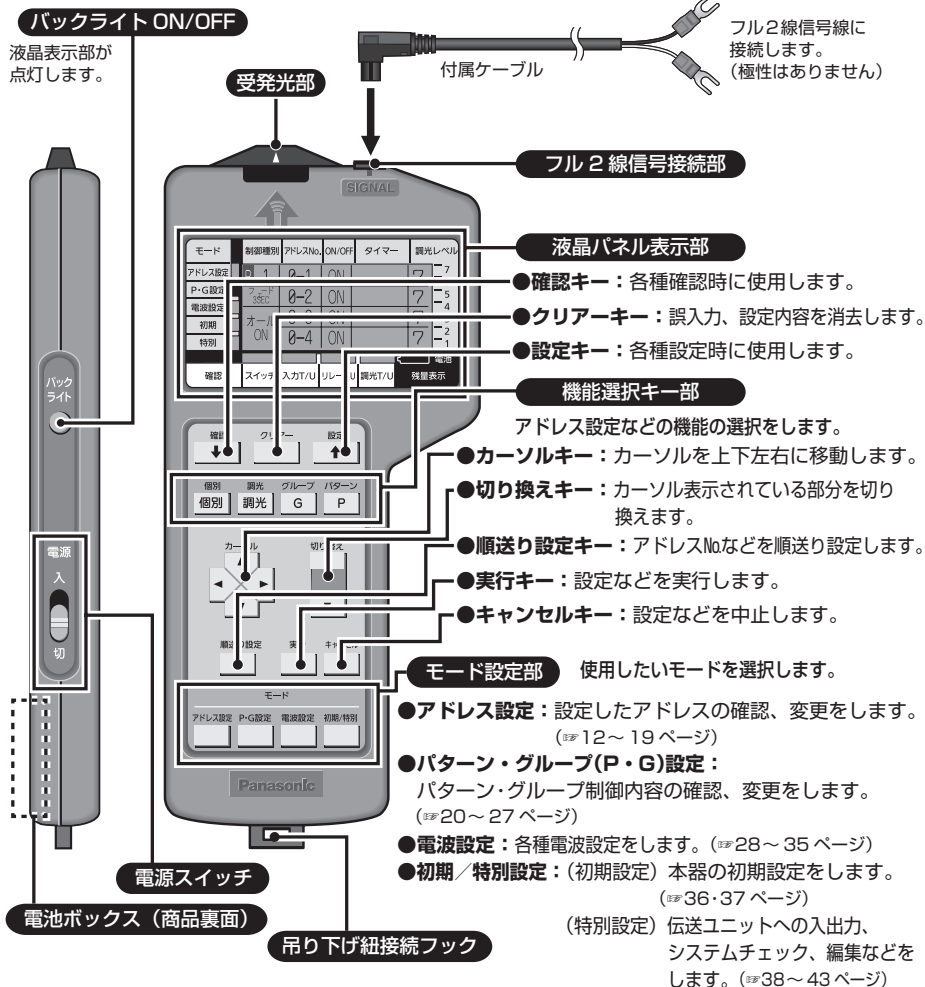
＜初期設定モード初期画面＞

操作音	本器の操作音の〔あり／なし〕を設定（☞ 36・37 ページ）
電源切断時間	オートパワーオフ機能 本器の無操作時の電源切断時間〔なし／５分／10 分〕を設定（☞ 36・37 ページ）
伝送ユニット	接続する伝送ユニットを設定（☞ 36・37 ページ）
端末数変化監視	システムに接続されている端末数が変化したときに確認メッセージを表示（☞ 36・37 ページ）

■特別設定

＜特別設定モード初期画面＞

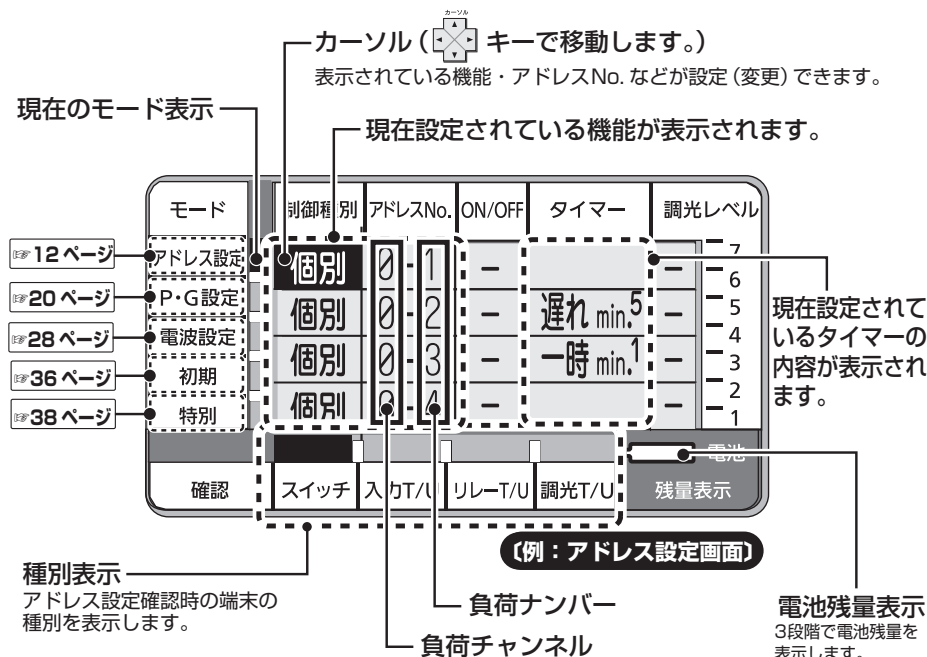
伝送ユニット	入力	伝送ユニットからパターン・グループ制御内容を本器に入力(☞ 38・39 ページ)
	出力	本器のパターン・グループ制御内容を伝送ユニットへ出力(☞ 38・39 ページ)
	照合	本器と伝送ユニットのパターン・グループ制御内容を照合(☞ 38・39 ページ)
チェック	動作確認	本器よりフル 2 線システムを制御(☞ 38・40 ページ)
	システム状態表示	フル 2 線システムの状態を表示(☞ 38・40 ページ)
	端末登録 P・G 設定	選択した端末器の登録されているパターン・グループ番号を表示(☞ 38・40 ページ)
	空き端末表示	システムの空き端末(アドレス)を表示(☞ 38・40 ページ)
編集	パターン反転	パターン制御内容を反転(☞ 38・41 ページ)
	コピー	パターン・グループ制御内容を他のパターン・グループにコピー（☞ 38・41 ページ)
	オール消去	パターン・グループ制御内容を選択範囲ごとに消去(☞ 38・41 ページ)
	範囲	パターン・グループ制御内容を選択範囲ごとに一括編集(☞ 38・41 ページ)
設定状態	P・G 設定モード設定	フル 2 線システムの状態を切り換え(☞ 38・42・43 ページ)
	P・G 設定内容一覧	選択したパターン・グループ制御内容を一覧で表示(☞ 38・42・43 ページ)
	空き P・G 表示	使用されていないパターン・グループ番号を表示(☞ 38・42・43 ページ)

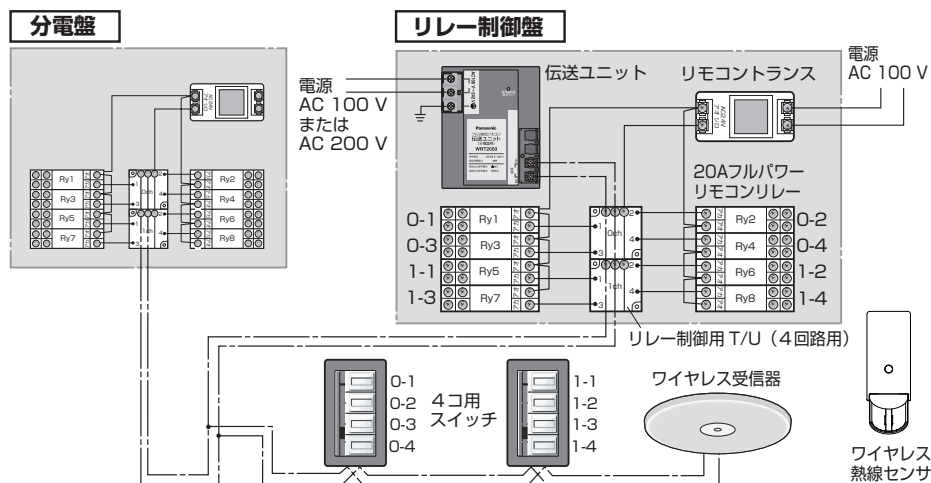
各部のなまえとはたらき

各種設定可否一覧

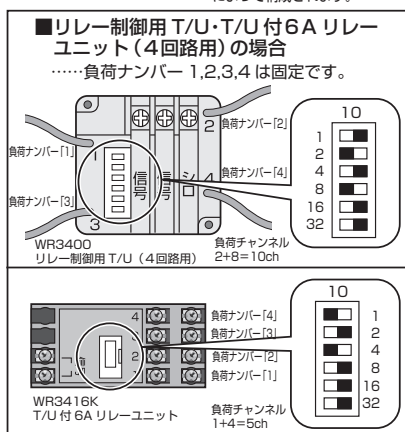
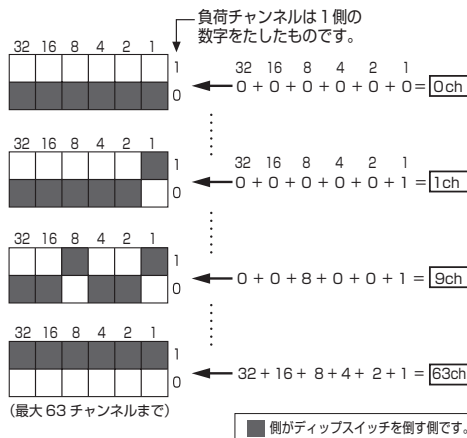
電池残量	信号線接続	アドレス設定	P·G 設定	電波設定
[■■■]	なし	○	×	○
[□□■]	なし	×	×	○
[■■■]	あり	○	○	×
[□□■]	あり	×	○	×
なし	あり	×	○	×

・本器の電源スイッチを入れると初期画面はＰ・Ｇ設定モードの画面が立ち上がります。使用する機能(☞ 6・7 ページ)により「モード設定部」のキー 操作で切り換えてください。
・信号線を接続すると、電源の供給が電池から信号線に自動的に切り換わります。
※一部機能によっては、電池を使用します。
ご注意！ 信号線を接続すると電波設定モードは使用できなくなります。
・キー操作がなくなれば一定時間後に自動的に電源 OFF となります。
※初期設定モードで「一定時間（電源切断時間)」の設定ができます。(☞ 37 ページ)
再度電源 ON にする場合は電源スイッチを操作してください。
・キー動作時、操作音がします。操作エラーのときは”ピッピッピッピッピッ”というエラー音に変わります。
※初期設定モードで操作音の「ある／なし」が設定ができます。(☞ 37 ページ)
・設定した内容または伝送ユニットから本器へ入力したパターン・グループ制御内容は、電源を OFF にしても消去されません。

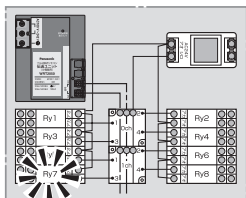
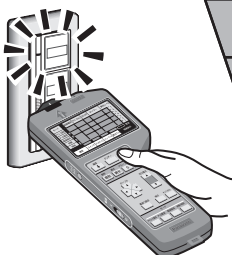
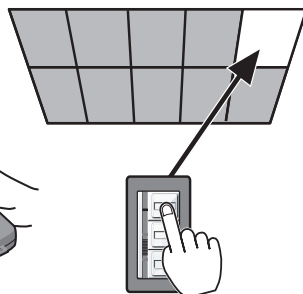
液晶パネル表示部

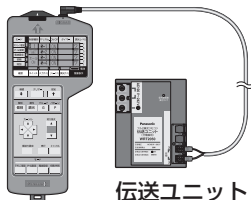
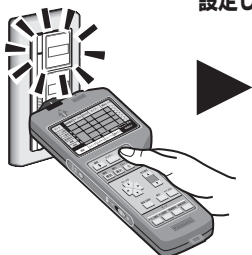
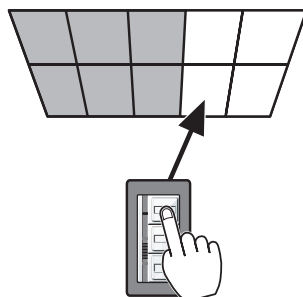
選択されたモードから各モードの初期画面および設定画面が表示されます。

設定の前に施工のご確認

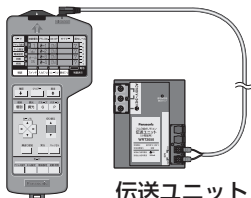
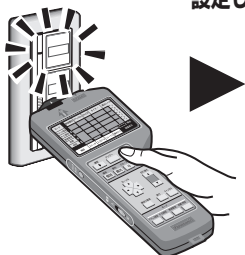
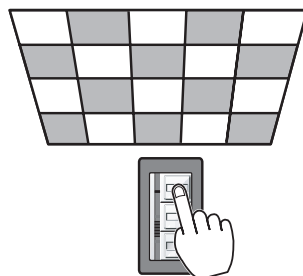
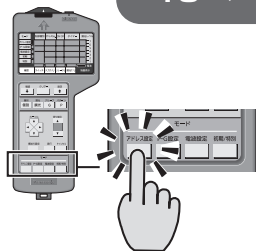
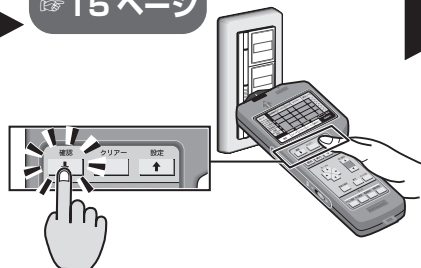
配線例

1. 伝送ユニット・リモコントランスなどの電源は入っていますか？
2. 信号線は各端末器(スイッチ・センサなど)、および他の盤へ配線されていますか？
3. 盤内の DIP 式アドレス設定方式の端末器の設定は完了していますか？

ディップスイッチ設定式器具のアドレス設定方法

制御方式について

個別制御（☞16 ページ）

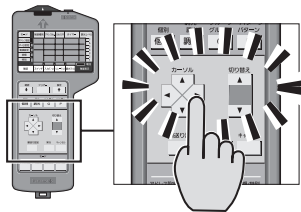
スイッチにアドレスを設定すると
動作します。

グループ制御（☞16 ページ）

個別制御ができる、または盤内設定が完了していることが前提です。

パターン制御（☞17 ページ）

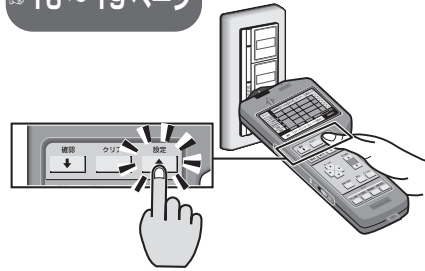
個別制御ができる、または盤内設定が完了していることが前提です。

アドレス設定の流れ

設　定　手　順

確　認　手　順

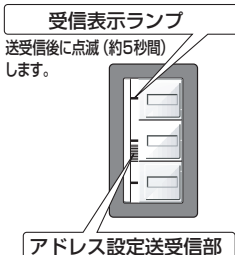
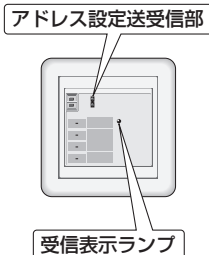
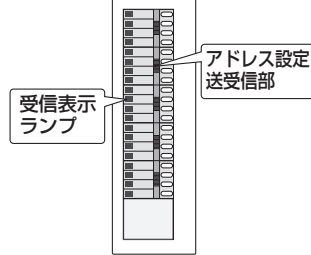
アドレス設定範囲			
スイッチ・T/U の種別によるアドレス No. およびタイマー設定は、下記の範囲で行ってください。　※ 一 部は設定できません。			
種　別	機　能	アドレス No.	タイマー設定
スイッチ	個　別	0-1 ～ 63-4	○
	G：グループ	1 ～ 127	○
	P：パターン	1 ～ 72	ー
	調　光	1 ～ 16	○
	調　光(ON/ OFF)	1 ～ 16	○
入力 T/U	個　別	0-1 ～ 63-4	ー
	G：グループ	1 ～ 127	ー
	P：パターン	1 ～ 72	ー
	調　光	1 ～ 16	ー
	調　光(ON/ OFF)	1 ～ 16	ー
リレー T/U	個　別	0-1 ～ 63-4	ー
調光 T/U	調　光	1 ～ 16	ー

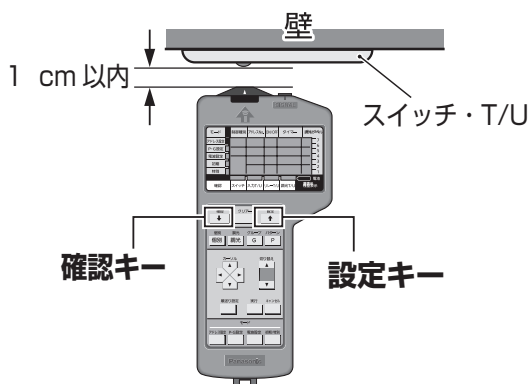
アドレスの選択

☞16～19ページ

アドレスの設定

☞16～19ページ

設定事例

本誌ではアドレス設定(変更)の手順・方法について下記の４例で説明しています。該当するページをご覧ください。	
A	スイッチに個別またはグループの機能をもたせて、アドレス No.・タイマーを設定する場合（☞ 16 ページ）
B	スイッチにパターン機能をもたせて、アドレス No. を設定する場合（☞ 17 ページ）
C	調光スイッチにアドレス No.・タイマーを設定する場合(☞ 18 ページ)
D	電動機器用スイッチ・T/U 等にアドレス No. を設定する場合(☞ 19 ページ)

〈送受信部〉

アドレスの確認・設定時のご注意

●本器の受発光部をスイッチ・T/U の送受信部に 1cm 以内にまっすぐ近づけてから確認キーまたは設定キー(出力)を押してください。
※天井用熱線センサについては、2cm 程度離すと、設定しやすくなります。
●液晶表示部に“確認中(設定中)”が表示されている間(約1秒〜4秒)は本器を動かさないでください。
●“ピー”という音で完了をお知らせします。
● エラー時は“ピッピッピッピッピッ”という音でお知らせします。
(☞ 44 ページ「エラー表示について」を確認してください)

●アドレスの確認・設定中には、近くで他のワイヤレススイッチや器具などを使用しないでください。確認・設定の操作エラーになる場合があります。
●アドレス設定時には、必ずスイッチ・T/U がフル2線信号に接続されていることを確認してください。
●設定する前に必ず対象のスイッチ・T/U のアドレス No. を確認してください。
●アドレス No.・タイマーの設定内容はアドレスプラン表またはスイッチ・T/U の本体にえんぴつなどで必ず記入しておいてください。
●電池残量が低下しているときは、アドレスの確認・設定はできません。

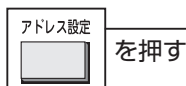
アドレスの確認方法

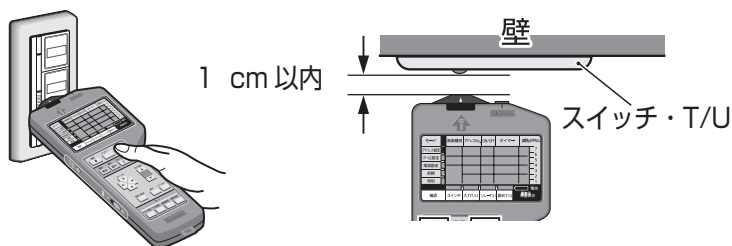
スイッチ・T/U の「種別・機能・アドレス No.」を確認します。

1 本器の 電源スイッチ を入れる

●電源スイッチを入れると液晶パネルは
「P・G 設定」モードの初期画面が立ち上がります。

2 モードを「アドレス設定」にする

アドレス設定 を押す

●液晶パネルは「アドレス設定」モードの
初期画面が立ち上がります。

3 スイッチ・T/U の送受信部に近づける

4 確認 ↓ キーを押す

●ピー音を確認する。(約 1 秒～ 4 秒)
●スイッチ・T/U は、出荷時の状態では設定されていませんので表示パネルに「アドレス No.」は表示されません。
●すでにアドレス NO. が設定されている場合、液晶パネルに「種別・機能・アドレス No.」が表示されます。
●設定できないところは“－”で表示されます。

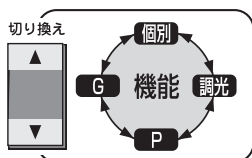
アドレスの設定 / 編集(変更)方法　A

スイッチに個別またはグループ機能をもたせて、アドレスNo.・タイマーを設定する方法

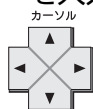
例　２コ用スイッチに「機能：個別、アドレスNo.：0-1、タイマー設定：遅れ５分」および「グループ２」を設定

1 スイッチの現在の「種別・機能・アドレス No.」を確認する
(☞ 14・15 ページ)

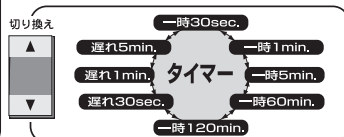
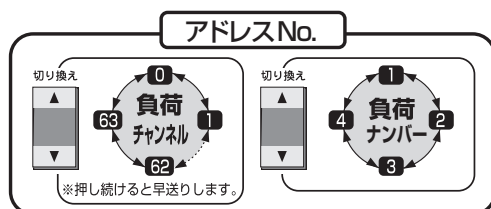
●現在の設定が表示されます。

2 設定 / 編集(変更)したい機能“**個別**”を入力する

→ 個別 を選択、または機能選択キー 個別 を押して 機能を 個別 にする

▼カーソル位置

3 アドレス No.(負荷チャンネル＋負荷ナンバー)“**0－1**”およびタイマー“**遅れ 5min**”を入力する

キー ▶カーソルを移動して

(負荷チャンネル)(負荷ナンバー)
アドレス No.”０－１”と
タイマー”遅れ 5min”を入力

切り換え
一時30sec.
遅れ5min.
一時1min.
遅れ1min.
タイマー
一時5min.
遅れ30sec.
一時60min.
一時120min.

4 カーソルを２行目に移動し､「グループ２」のアドレス No. を **2** **3** と同じ要領で設定･入力する（機能“G”､アドレス No.“２”を選択する）

5 設定 [↑] キーを押す。(ピー音を確認する)

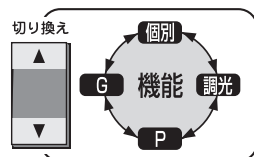
アドレスの設定 / 編集(変更)方法 B

スイッチにパターン機能を持たせて、アドレスNo.を設定する場合

例 2コ用スイッチに「パターン5、パターン6」を設定

1 スイッチの現在の「種別・機能・アドレス No.」を確認する
(☞ 14・15 ページ)

●現在の設定が表示されます。

2 設定 / 編集(変更)したい機能“ P ”を入力する

→ P を選択、または機能選択キー パターン P を押して 機能を P にする

3 アドレス No.“ 5 ”を入力する

キー▶カーソルを移動して ”5 ” を入力

▼カーソル位置

4 カーソルを2行目に移動し、「パターン6」のアドレス No. を 2 3 と同じ要領で設定・入力する(機能“ P ”、アドレス No.“6”を選択する)

5 設定 キーを押す。(ピー音を確認する)

アドレスの設定 / 編集(変更)方法　C

調光スイッチにアドレスNo.・タイマーを設定する場合

例　調光レベル制御用スイッチのアドレス「個別 1-1」と ON/OFF 用スイッチのアドレス「個別 1-2、一時 60 分」を設定

1 スイッチの現在の「種別・機能・アドレス No.」を確認する
(☞ 14・15 ページ)

●現在の設定が表示されます。

2 設定 / 編集(変更)したい機能 “ 個別 ” を入力する

→ 個別 を選択、または機能選択キー 個別 を押して 機能を 個別 にする

3 アドレス No.(負荷チャンネル + 負荷ナンバー)
“**1 ー 1**” を入力する

カーソル キー ▶カーソルを移動して
アドレス No.” 1 ー 1 ” を入力

4 カーソルを2行目に移動し、「ON/OFF」用のアドレス No. を **2** **3** と同じ要領で設定・入力する
(機能“個別”、アドレス No.“1-2”とタイマー“一時 60min”を選択する)

5 設定 ⬆ キーを押す。(ピー音を確認する)

アドレスの設定 / 編集(変更)方法　D

電動機器用スイッチ・T/U 等にアドレスNo.を設定する場合

電動機器用のスイッチ・T/U 等のアドレスは下記の通りです。
スイッチのアドレスの設定と同じ要領で設定してください。

WRT5401WK	電動機器用制御スイッチ(表示付)

WRT4421・WRT4422	電動機器用 T/U

ご注意！ 電動機器用 T/U に使用したアドレスは、個別スイッチ・T/U には使用できません。

WRT4500	エアコン用 T/U(HA 端子対応型)

●アドレスの設定

T/U 付6A 埋込リレーユニット片切(1回路用)WRT4101K と同様に設定してください。

パターン・グループ(P・G)設定の流れ

設定されたパターン・グループ制御内容は、伝送ユニット内に記憶されています。その記憶されたデータの内容を編集(変更)して設定し直すことができます。
- パターン・グループ制御内容の編集はフル2線信号に接続されていなくてもできます。
- パターン・グループ制御内容の入出力には、フル2線信号に接続する必要があります。
- パターン・グループ制御内容の設定はフル2線システム側にT/Uが接続されていなくても、設定内容を入出力することができます。
- 設定中は負荷の状態は変わりません。

P・G設定時のご注意

● WRT2040系列･WRT2050系列以外の伝送ユニットをご使用の場合、正しく設定するために入出力中は、フル2線システム側のスイッチ操作は行わないでください。

1 データ入力

●伝送ユニットからパターン･グループ制御内容を本器に入力します。

●伝送ユニットに記憶されている制御内容を本器にバックアップデータとして保管しておくことができます。

3 データ出力

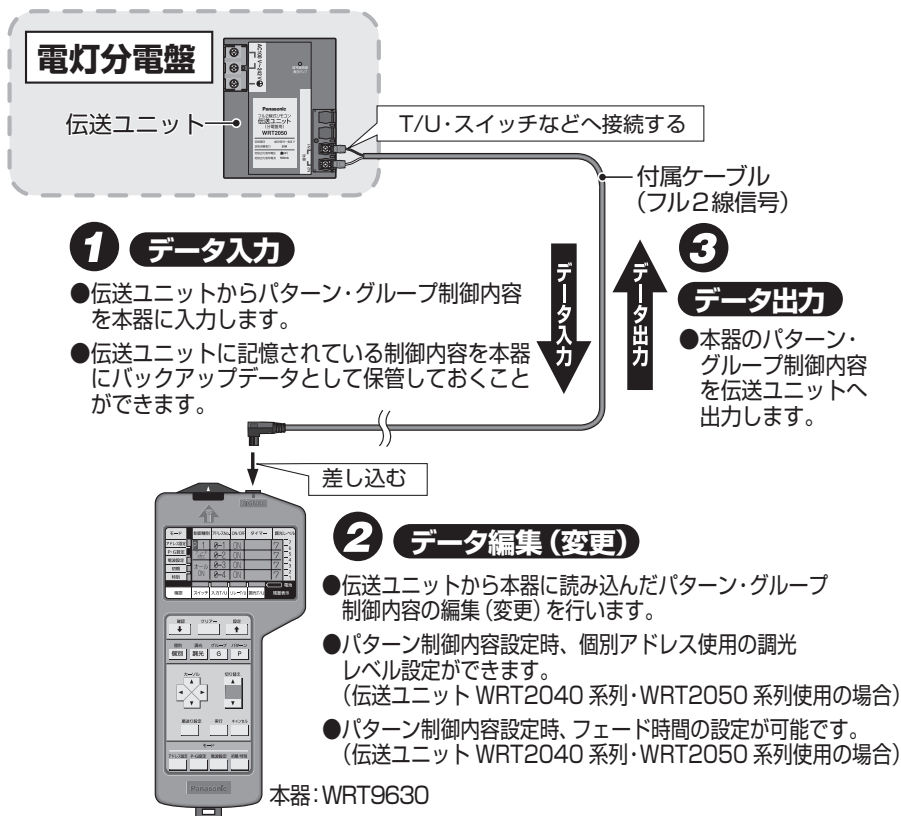
●本器のパターン･グループ制御内容を伝送ユニットへ出力します。

2 データ編集(変更)

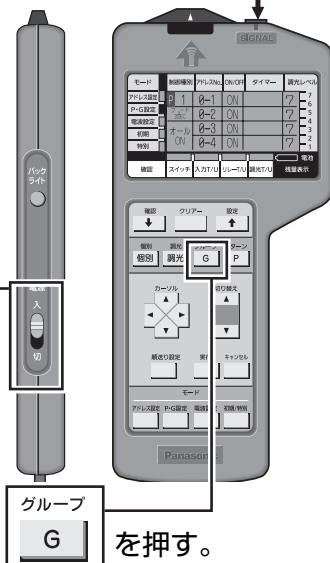
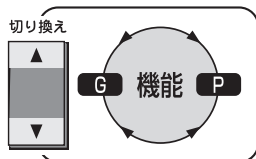
●伝送ユニットから本器に読み込んだパターン･グループ制御内容の編集(変更)を行います。

●パターン制御内容設定時、個別アドレス使用の調光レベル設定ができます。
(伝送ユニットWRT2040系列･WRT2050系列使用の場合)

●パターン制御内容設定時、フェード時間の設定が可能です。
(伝送ユニットWRT2040系列･WRT2050系列使用の場合)

本器:WRT9630

パターン・グループ(P・G)設定モードの立ち上げ

1 伝送ユニットに接続した **付属ケーブル** を本器に接続し、本器の **電源スイッチ** を入れる

●本器は電源スイッチを入れると、「P・G 設定モード」が立ち上がり、液晶パネルには「P・G 設定モード」の **「パターン設定」** の初期画面が表示されます。

2 “ **グループ** ”機能の設定を(変更)を選択したい場合

→ **G** を選択、

または**機能選択キー** **G** を押す。

「グループ設定」 の初期画面が表示されます。

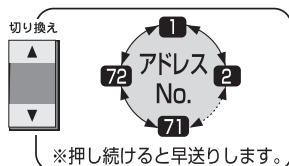
設定および変更については、パターン・グループ(P・G)制御内容の設定および変更方法（☞ 22 ページ）の **3** へ進んでください。

パターン・グループ(P・G)制御内容の設定および変更方法

画面表示されているパターン・グループ制御内容のみを
本器と伝送ユニット間で入出力(読み込み、書き込み)する方法

1 付属ケーブル（フル2線信号）を接続し、電源を入れる(P・G設定モードの立ち上げ)（☞ 21ページ）

2 パターンかグループを“**切り換えキー**”または“**機能選択キー**”で入力する（☞ 21ページ）

3 カーソルを移動して設定したいパターンかグループの **No.(アドレス)** を“**切り換えキー**”で選択する

4 確認 キーを2秒以上押す

●伝送ユニットから、選択したデータが本器に入力(読み込み)されます。

●表示されているパターン・グループのアドレスNo.の内容だけが入力(本器に読み込み)されます。

5 カーソル **キー** と 切り換え **キー**で設定内容を編集(変更)する

6 設定 キーを2秒以上押す

●伝送ユニットへ編集(変更)したデータが本器から伝送ユニットに出力(書き込み)されます。

●表示されているパターン・グループのアドレスNo.の内容だけが出力(伝送ユニットに書き込み)されます。

指定範囲のパターン・グループ制御内容を
本器と伝送ユニット間で入出力(読み込み、書き込み)する方法

1 付属ケーブル（フル２線信号）を接続し､電源を入れる（P･G 設定モードの立ち上げ）(☞ 21 ページ)

2 モードを“**特別設定**”に切り替える→**モード設定部** 初期 / 特別 を**２回押す**（☞ 38 ページ）

3 指定範囲のパターン・グループの制御内容を伝送ユニットから読み込む（☞ 39 ページ）

4 モードを“**パターン・グループ設定**”に戻す→**モード設定部** P･G設定 を押す

5 設定内容を編集(変更)する

編集(変更)のしかたは ･･･ ☞24 〜27 ページ

6 モードを“**特別設定**”に切り替える→**モード設定部** 初期 / 特別 を**２回押す**

7 指定範囲のパターン・グループの制御内容を伝送ユニットへ書き込む（☞ 39 ページ）

パターン・グループ(P・G)制御内容の編集(変更)手順

1 カーソルを移動して設定したいパターンかグループの **No.(アドレス)** を"**切り換えキー**"で選択する

※表示できる
アドレスNo.
P:1~72
G:1~127

2 **WRT2040 系列・WRT2050 系列伝送ユニット**
ではパターンの場合のみ **フェード時間** の
設定が出来ます。 ☞ 26 ページ

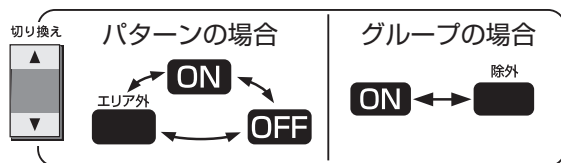
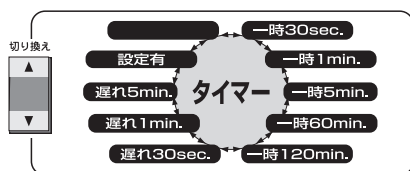
WRT2040 系列・WRT2050 系列以外の伝送ユニットでは 3 または 4 へ進んでください。

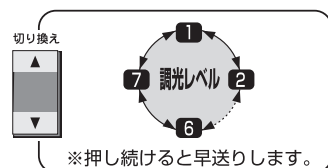
3 **オール ON、オールクリアーなど、同じ設定が多い場合** などに種々の設定ができます。
☞ 26・27 ページ

同じ設定が多くない場合には 4 へ進んでください。

4 カーソルをアドレス No. の欄に移動して、編集(変更)したい **アドレス No.** を"**切り換えキー**"で選択する

※表示できる
アドレスNo.
個別:0-1~63-4
調光:1~16

5 カーソルを ON/OFF の欄に移動して、編集(変更)したい **制御内容** を“**切り換えキー**”で選択する

6 カーソルをタイマーの欄に移動して、設定したい **タイマー時間** を“**切り換えキー**”で選択する
(ON 設定されているアドレスのみ)

設定有 はすでに伝送ユニットに設定されているタイマー時間を、変更せずにそのまま設定します。

7 カーソルを調光レベルの欄に移動して、設定したい **調光レベル** を“**切り換えキー**”で選択する

- WRT2040 系列・WRT2050 系列伝送ユニット接続時は、個別 256 回路、調光 16 回路の ON 設定されているアドレスのみ選択
- WRT2000K 系列伝送ユニット接続時は、調光 16 回路の ON 設定されているアドレスのみ選択

※レベル 1 は調光スイッチの LED すべて消灯している状態と同じです。レベル 7 は LED が 6 コ点灯している状態と同じです。

※ **有** はすでに伝送ユニットに調光レベルが 127 段階で設定されているレベルを変更せずにそのまま設定します。

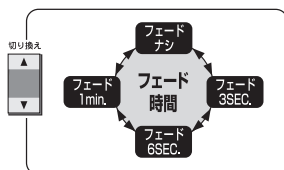
8 設定が完了すれば必ず、 設定 **↑** キーを押してください。

ご注意！	設定キーを押さないと、電源を OFF した時に編集(変更)内容が消去されます。

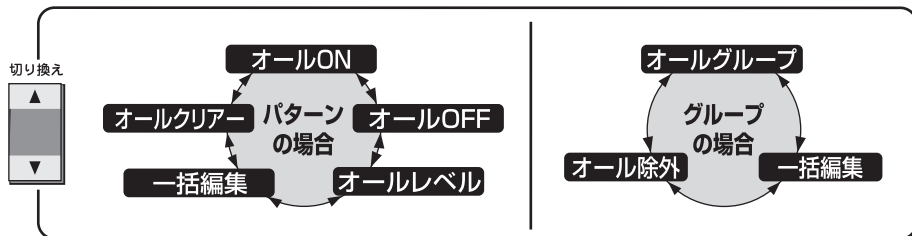
パターン・グループ(P・G)制御内容の編集(変更)手順

2 **WRT2040 系列・WRT2050 系列伝送ユニット**ではパターン制御の場合のみ **フェード時間** の設定が出来ます。

「フェード時間」: 調光負荷の明るさを徐々に変える時間

図に示す位置にカーソルを移動して、設定したいフェード時間を“**切り換えキー**”で選択する

ご注意! WRT2040 系列・WRT2050 系列以外の伝送ユニットでは「フェード時間」の設定はできません。

3 オール ON、オールクリアーなど、同じ設定が多い場合に 27 ページで説明する **種々の設定** ができます。

図に示す位置にカーソルを移動して、設定したい項目を“**切り換えキー**”で選択する

（フェード設定・一括編集）

パターンの場合

オール ON 選択時
•設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す
● 個別 256 回路、調光 16 回路すべて ON 設定

オール OFF 選択時
•設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す
● 個別 256 回路、調光 16 回路すべて OFF 設定

オールレベル選択時（WR3212 伝送ユニットは選択できません。）
•“**切り換えキー**”を使用し、設定したい調光レベルを選択
設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す
● WRT2040 系列・WRT2050 系列伝送ユニット接続時は、個別 256 回路、調光 16 回路
● WRT2000K 系列伝送ユニット接続時は、調光 16 回路の ON 設定されているすべてのアドレスが選択した同一調光レベルに設定

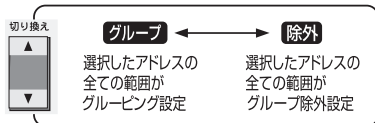
一括編集選択時
•“**カーソルキー**”“**切り換えキー**”で設定したいアドレス範囲を選択する
設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す

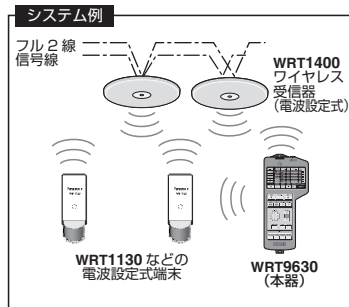
オールクリア選択時
•設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す
● 個別 256 回路、調光 16 回路すべてエリア外設定

グループの場合

オールグループ選択時
•設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す
● 個別 256 回路、調光 16 回路すべてグルーピング設定

一括編集選択時
•“**カーソルキー**”“**切り換えキー**”で設定したいアドレス範囲を選択する
設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す

オール除外選択時
•設定する場合“**実行キー**”を、中止する場合は“**キャンセルキー**”を押す
● 個別 256 回路、調光 16 回路すべて除外設定

電波設定の流れ

ワイヤレス熱線センサなどの電波設定式端末やワイヤレス受信器（電波設定式）には、本器を用いて各種電波設定が必要です。

■電波設定式端末に必要な設定

（詳細は、各電波設定式端末の説明書をご確認ください）

設定項目	設定内容	説明
アドレス設定	個別・パターン・グループアドレス	電波設定式端末が制御するアドレスを設定します。

■ワイヤレス受信器に必要な設定

（詳細は、ワイヤレス受信器の説明書をご確認ください）

設定項目	設定内容	説明
受信器アドレス	個別 0-1 ～ 63-4	同じ伝送ユニットに接続されている受信器に同一の受信器アドレスを設定します。 受信器アドレスとして使用したアドレスは、他のフル２線端末の制御アドレスには使用できません。
周波数 CH.	1 ～ 4	無線通信で使用する周波数を設定します。
エリアNo.	1 ～ 10	受信器を使用するエリアを設定します。
電波設定式端末の登録	電波設定式端末 ID	ワイヤレス受信器を中継して通信するワイヤレス端末を設定します。 ※電波設定式端末の**登録前に**必ず、**受信器の初期設定**（☞ 30 ページ）を行ってください。

電波設定時のご注意

■次のような使用環境では、周辺機器のノイズや障害物の影響を受けて電波の到達距離が短くなることがあります。

・本器の近くに金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
・本器の近くにある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
・本器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
・操作する人の位置で電波を遮っている。
・電子レンジやパソコンなどの家電商品や OA 機器が本器の周囲２ m 以内にある。
・本器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
・本器の近くで、携帯電話や PHS 電話を使用している。
・本器の近く（10 m 以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
・近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺等の強電界地域または各種無線局がある。
・商用電源に接続する機器（AC100V,AC200V など）およびその電源線の近くから 20 cm 以上離してください。

電波設定モードの立ち上げ

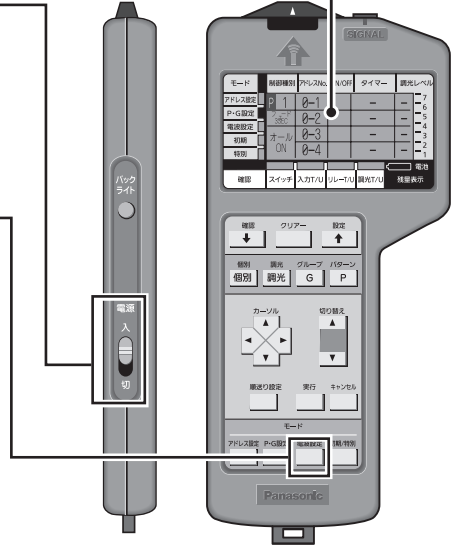
1 本器の **電源スイッチ** を入れる

●電源スイッチを入れると液晶パネルは「パターン・グループ(P・G)設定」モードの初期画面が立ち上がります。

2 モードを「**電波設定**」にする

電波設定 を押す

●液晶パネルは「電波設定」モードの初期画面が立ち上がります。

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	受信器初期設定				7 6
P・G設定	受信器への登録設定				5 4
電波設定	アドレス設定				3 2
初期	アドレス一括設定				1
確認	スイッチ	入力T/U	リレーT/U	調光T/U	電池 残量表示

※付属ケーブル(フル 2 線信号)が接続された状態では、電波設定モードは立ち上がりません。

【各項目の設定】

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	受信器初期設定				7 6
P・G設定	受信器への登録設定				5 4
電波設定	アドレス設定				3 2
初期	アドレス一括設定				1
確認	スイッチ	入力T/U	リレーT/U	調光T/U	電池 残量表示

↕ 選択

• 受信器初期設定
ワイヤレス受信器の受信器アドレス(個別 0-1 ～ 63-4)、周波数 CH.(1 ～ 4)、エリア No.(1 ～ 10)を確認・設定できます。
(☞ 30 ページ)

• 受信器への登録設定
ワイヤレス受信器に電波設定式端末を登録できます。(☞ 31 ページ)
ワイヤレス受信器に登録されている電波設定式端末のアドレスを確認できます。(☞ 32・33 ページ)

• アドレス設定
電波設定式端末の機能とアドレスNo.を確認・設定できます。(☞ 34 ページ)

• アドレス一括設定
電波設定式端末の複数の機能とアドレスNo.をすべて一括で確認・設定できます。(☞ 35 ページ)
※電波設定式端末の種類によっては、アドレス一括設定ができない端末があります。
詳しくは、各電波設定式端末の説明書をご確認ください。

受信器の初期設定方法

1 カーソル キーで「受信器初期設定」を選択し、

実行 キーを押す。(☞ 28 ページ)

●周辺に施工されているワイヤレス受信器 ID の一覧を表示します。
● ID 一覧の表示まで約 6 秒かかります。
※ワイヤレス受信器の電源投入後、または停電復帰後、約 50 秒間は ID が表示されません。

2 設定したいワイヤレス受信器の ID を確認するため、表示されている ID の「サーチ」に カーソル キーを合わせ、

実行 キーを押す。

● ID に該当するワイヤレス受信器の LED が点滅します。
● ID は、ワイヤレス受信器にも記載されています。
●意図しないワイヤレス受信器の LED が点滅した場合は、別の ID の「サーチ」を実行する。

3 設定したいワイヤレス受信器の ID が確認できたら、設定するワイヤレス受信器の ID の「セット」に

カーソル キーを合わせ、 実行 キーを押す。

4 カーソル キーと 切り換え キーで受信器アドレス、周波数チャンネル、エリアナンバーを編集する。

●受信器アドレス　0-1 ～ 63-4
●周波数 CH.　1 ～ 4
●エリア No.　1 ～ 10
※各設定値の詳細は、ワイヤレス受信器の説明書をご確認ください。
●キャンセルキーを押すと、内容が変更されずに戻ります。
● クリアー キーを押すと数値がクリアーされます。

5 実行 キーを押す。(ピー音が鳴ります。)

●ワイヤレス受信器に設定内容が登録されます。

※周波数 CH. またはエリアNo.を変更すると、登録されている端末がすべて消去されます。

受信器への登録方法

※受信器の初期設定が完了していない場合は、必ず、先に受信器の初期設定を行ってください。(☞ 30 ページ)

1 カーソル キーで「受信器への登録設定」を選択し、

実行 キーを押す。(☞ 29 ページ)

●周辺に施工されているワイヤレス受信器 ID の一覧を表示します。
● ID 一覧の表示まで 6 秒ほどかかります。
※ワイヤレス受信器の電源投入後、または停電復帰後、約 50 秒間は ID が表示されません。

2 登録したいワイヤレス受信器の ID を確認するため、表示されている

ID の「サーチ」に カーソル キーを合わせ、

実行 キーを押す。

● ID に該当するワイヤレス受信器の LED が点滅します。
● ID は、ワイヤレス受信器にも記載されています。
●意図しないワイヤレス受信器の LED が点滅した場合は、別の ID の「サーチ」を実行する。

3 登録したいワイヤレス受信器の ID が確認できたら、登録する

ワイヤレス受信器の ID に カーソル キーを合わせ、

確認 ↓ キーを押す。

●選択したワイヤレス受信器から、現在、登録されている電波設定式端末情報の一覧を表示します。

4 カーソル キーで「登録追加」を選択し、

実行 キーを押す。

●キャンセルを押すと、前画面に戻ります。

5 登録したい電波設定式端末の確認ボタンを長押しする。

●登録したい電波設定式端末情報を読み込みます。

6 実行 キーを押す。(ピー音が鳴ります。)

●ワイヤレス受信器に電波設定式端末が登録されます。

受信器の登録端末の削除方法

1 カーソル キーで「受信器への登録設定」を選択し、実行 キーを押す。(☞ 29 ページ)

●周辺に施工されているワイヤレス受信器 ID の一覧を表示します。
● ID 一覧の表示まで 6 秒ほどかかります。
※ワイヤレス受信器の電源投入後または、停電復帰後、約 50 秒間は ID が表示されません。

2 登録を削除したいワイヤレス受信器の ID を確認するため、表示されている ID の「サーチ」に カーソル キーを合わせ、実行 キーを押す。

● ID に該当するワイヤレス受信器の LED が点滅します。
● ID は、ワイヤレス受信器にも記載されています。
●意図しないワイヤレス受信器の LED が点滅した場合は、別の ID の「サーチ」を実行する。

3 登録を削除するワイヤレス受信器の ID に

カーソル キーを合わせ、確認 キーを押す。

●選択したワイヤレス受信器から、現在、登録されている電波設定式端末情報の一覧を表示します。

4 登録を削除したい電波設定式端末の ID を確認するため、表示されている ID の「サーチ」に カーソル キーを合わせ、実行 キーを押す。

● ID に該当する電波設定式端末の LED が点滅します。
● ID は、電波設定式端末にも記載されています。
●キャンセルを押すと、前画面に戻ります。
●意図しない電波設定式端末の LED が点滅した場合は、別の ID の「サーチ」を実行する。

5 登録を削除したい電波設定式端末の ID に

カーソル キーを合わせ、

クリアー キーを押す。

6 実行 キーを押す。(ピー音が鳴ります。)

●ワイヤレス受信器に登録されていた電波設定式端末が削除されます。
※受信器の周波数 CH. またはエリア№を変更することでも一括削除が可能です。
※削除した電波設定式端末を長期間使用しない場合は、電波設定式端末の説明書を確認して端末の登録情報を削除してください。

登録端末のアドレス確認方法

1 キーで「受信器への登録設定」を選択し、

実行
キーを押す。(☞ 29 ページ)

●周辺に施工されているワイヤレス受信器 ID の一覧を表示します。
● ID 一覧の表示まで 6 秒ほどかかります。
※ワイヤレス受信器の電源投入後、または停電復帰後、約 50 秒間は ID が表示されません。

2 確認したいワイヤレス受信器の ID を確認するため、表示されている

ID の「サーチ」に キーを合わせ、

実行 キーを押す。

● ID に該当するワイヤレス受信器の LED が点滅します。
● ID は、ワイヤレス受信器にも記載されています。
●意図しないワイヤレス受信器の LED が点滅した場合は、別の ID の「サーチ」を実行する。

3 登録を確認するワイヤレス受信器の ID に

キーを合わせ、
確認
キーを押す。

●選択したワイヤレス受信器から、現在、登録されている電波設定式端末情報の一覧を表示します。

4 アドレス確認したい電波設定式端末の ID に

キーを合わせ、
確認
キーを押す。

●ワイヤレス受信器に登録されている端末のアドレスが表示されます。
●アドレスの変更・削除はできません。

アドレスの確認と設定方法

❶ カーソル キーで「アドレス設定」を選択し、

実行 キーを押す。(☞ 29 ページ)

❷ アドレスを表示させたい電波設定式端末の確認ボタンを長押しする。

●現在の設定内容が表示されます。

モード | 制御種別 | アドレスNo. | ON/OFF | タイマー | 調光レベル
アドレス設定 / P･G設定 / 電波設定 / 初期 / 特別
端末の確認ボタンを
押してください
（長押し）
戻る▶キャンセル
電池
確認 | スイッチ | 入力T/U | リレーT/U | 調光T/U | 残量表示

❸ カーソル キーと 切り換え キーで設定内容を編集（変更）する。

制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
個別	0-1	-	-	-
	-	-	-	-
個別	63-4	-	-	-
	-	-	-	-

●編集（変更）のしかた

「アドレスNo.の設定 / 編集（変更）方法」(☞ 16～19 ページ）と同じ要領で操作してください。

※電波設定式端末によって、設定できない内容（タイマーなど）があります。
詳細は、各電波設定式端末の説明書をご確認ください。

❹ 設定 ↑ キーを押す。（ピー音を確認する）

●電波設定式端末にアドレスが設定されます。

●電波設定式端末に設定できない内容を送信するとエラーとなり、設定できません。

アドレスの一括確認と一括設定方法

※電波設定式端末の種類によってはアドレス一括設定ができない端末があります。
詳細は、各電波設定式端末の取扱説明書をご確認ください。

1 カーソル キーで「アドレス一括設定」を選択し、

実行 キーを押す。(☞ 29 ページ)

2 アドレスを表示させたい電波設定式端末の確認ボタンを長押しする。

●現在の設定がアドレス設定選択１から表示されます。

3 切り換え キーで編集するアドレス設定選択番号を入力する。

4 カーソル キーと 切り換え キーで設定内容を編集(変更)する。

●編集(変更)のしかた

「アドレスNo.の設定 / 編集(変更)方法」(☞ 16〜19 ページ)
と同じ要領で操作してください。
※電波設定式端末によって、設定できない内容(タイマーなど)があります。
　詳細は、各電波設定式端末の説明書をご確認ください。

5 他のアドレス設定選択番号も同様に**3** **4**の方法により編集する。

6 全てのアドレス設定選択番号のアドレスを編集し終えたあと、

設定 キーを押す。(ピー音が鳴ります。)

●電波設定式端末にすべてにアドレス設定選択のアドレスが設定されます。
●電波設定式端末に設定できない内容を送信するとエラーとなり設定できません。

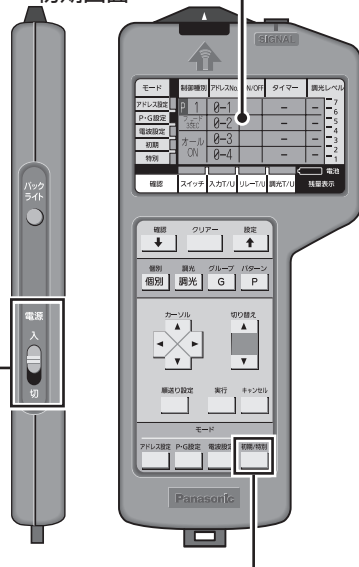
初期設定モードの立ち上げ

1 本器の 電源スイッチ を入れる

●電源スイッチを入れると液晶パネルは「パターン・グループ(P・G)設定」モードの初期画面が立ち上がります。

2 モードを「初期設定」にする

を 1 回押す

●液晶パネルは「初期設定」モードの初期画面が立ち上がります。

3 初期設定モードで設定ができる項目は下記の 4 項目です。

● 操作音の設定	● 電源切断時間の設定
● 伝送ユニットの設定	● 端末数変化監視の設定

❶ カーソル キーで設定（変更）したい項目を選択する

❷ 切り換え キーで希望する設定に切り換えます。（☞ 37 ページ）

各項目の設定

操作音の設定

工場出荷時は “なし” に設定されています。

電源切断時間の設定

工場出荷時は “5分” に設定されています。

伝送ユニットの設定

信号接続時は自動的に設定
工場出荷時は “WRT2050” に設定されています。

選択時、再度確認画面が表示されたら 実行 キーを押す

端末数変化監視の設定

工場出荷時は “解除” に設定されています。

●設定時、端末数が変化すれば、左の表示画面になります。

特別設定モードの立ち上げ

1 本器の **電源スイッチ** を入れる

●電源スイッチを入れると液晶パネルは「パターン・グループ(P・G)設定」モードの初期画面が立ち上がります。

2 モードを「特別設定」にする

を 2 回押す

●液晶パネルは「特別設定」モードの初期画面が立ち上がります。

3 特別設定モードで設定ができる項目は下記の 4 項目です。

● 伝送ユニット	● チェック
● 編集	● 設定状態

1 カーソル キーで設定(変更)したい項目を選択する

2 切り換え キーで希望する設定に切り換えます。(☞ 39～43 ページ)

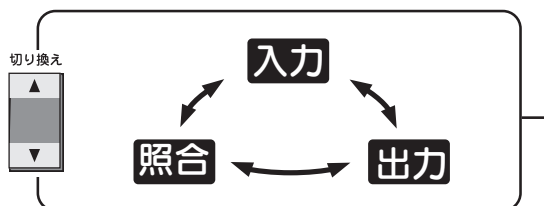
※付属ケーブルを接続しないと実行できない機能があります。

設定方法

特別設定

各項目の設定

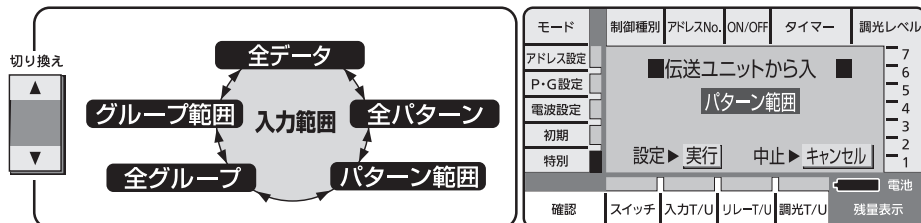
伝送ユニット

❶ 設定(変更)したい項目を選択する

入力…　伝送ユニットからパターン・グループ制御内容を本器に入力

出力…　本器のパターン・グループ制御内容を伝送ユニットへ出力

照合…　本器と伝送ユニットのパターン・グループ制御内容を照合

❷ 選択後、実行キーを押す

❸ 切り換えキーでデータ入力(本器へ読み込み)範囲を選択し、実行キーを押す

ご注意！

パターン範囲・グループ範囲を選択した場合は、入力(本器への読み込み)範囲のアドレスを“切り替えキー”“カーソルキー”で指定後“実行キー”を押してください。

各項目の設定

チェック

❶ 設定(変更)したい項目を選択する

❷ 選択後、実行 キーを押す

動作確認

種別	番号	確認
G	127	ON

●種別、番号を入力すると、現在の状態がON/OFFと調光レベルで表示されます。(調光がない場合はレベル位置にカーソルが移動しません)
●制御する場合、確認のON/OFF部(または調光レベル)へカーソルを移動後、"切り換えキー"を操作してください。

システム状態表示

個別	1	2	3	4
0ch	ー	ON	ON	OFF
1ch	ー	OFF	ON	ON
2ch	ー	OFF	ON	ON

●フル2線システムの状態を表示します。

●1画面で12端末の表示ができます。

●"切り換えキー"でページのアップダウンができます。

空き端末表示

空き端末表示			1 / 1
0-1	0-2	0-3	0-4
23-1	25-2	34-1	34-4
1	3	14	16

●伝送ユニットに接続されていない端末のアドレスを表示します。
●"切り換えキー"でページのアップダウンができます。

端末登録P･G表示

アドレス	個別	11-2	1 / 1
P 1	P 12	P 15	G 1
G 7			

●本器内のデータを検索し、検索アドレスが入っているパターン・グループのアドレスを表示します。
●検索アドレスを設定後、"実行キー"を押すと上記画面になります。
●"切り換えキー"でページのアップダウンができます。

編集

パターン反転	・・・	パターン制御内容を反転することができます。
コピー	・・・	パターン・グループ制御内容を他のパターン・グループにコピーすることができます。
オール消去	・・・	“全データ”“全パターン”“全グループ”を選択し、その設定内容をまとめて消去することができます。
範囲	・・・	範囲指定したパターン・グループの制御内容を一括で ON/OFF、エリア外に編集することができます。

各項目の設定

設定状態

❶ 設定(変更)したい項目を選択する

❷ 選択後、実行キーを押す

P･G 設定モード設定

システムを設定状態、通常状態に移行できます。

P･G 設定内容一覧

選択したパターン・グループ制御内容を一覧で表示します。

P1	1	2	3	4
0ch	ー	ON	ON	OFF
1ch	ー	OFF	ON	ON
2ch	ー	OFF	ON	ON

- 切り換え ▲▼ キーでページのアップダウンができます。

空き P･G 表示

使用されていないパターン・グループ番号を表示します。

P　1	P　2	P　3	P　4
ー	○	○	○
P　5	P　6	P　7	P　8
○	ー	ー	ー

- 空いているパターン・グループは“○”で表示されます。
- 切り換え ▲▼ キーでページのアップダウンができます。

エラー表示について

エラー表示		症　状（メッセージ）	点　　検	処　　置
アドレス設定時	エラー（E -10）	“アドレス確認ができません”“アドレス設定ができません”	スイッチ・T /U にフル 2 線の信号線が接続されていますか？	キャンセルを押してフル 2 線信号線を接続してください。
			スイッチ・T /U と本器の間が離れすぎていませんか？	キャンセルを押して 1 cm以内で行ってください。
			本器に電池が入っていますか？	本器に電池を入れ、再度行ってください。
			P･G設定画面が出ていませんか？	アドレス設定キーを押してください。
	エラー（E -11）	“確認データが異常です”	“確認中”表示がされている間に本器を動かしていませんか？	キャンセルを押して、確認中は本器を動かさないでください。
	エラー（E -12）	“確認機種と異なります”	確認した スイッチ・T / Uの機種と設定した機種が異なっていませんか？	キャンセルを押して、確認操作からやり直してください。
	エラー（E -13）	“確認端末個数と異なります”	2 コ用スイッチのアドレスを４コ用スイッチに設定するなど、確認したアドレス数と設定したアドレス数が異なっていませんか？	キャンセルを押して、確認操作からやり直して､アドレスN o .を正しく入力してください。
	エラー（E -14）	“アドレスが設定できません”	確認した調光スイッチの機種と設定した機種が異なっていませんか？	キャンセルを押して、確認操作からやり直して､アドレスN o .を正しく入力してください。
P・G設定時	エラー（E -20）	“フル 2 線信号が存在しません”	フル 2 線の信号線が接続されていますか？	フル２線信号線を接続してください。
			伝送ユニットの電源が入っていますか？	キャンセルを押して、伝送ユニットの電源を入れてください。
	エラー（E -21）	“伝送ユニット判別ができません”	伝送ユニットが WRT2000 K系列で､システムに接続されている調光T / Uの切換スイッチが､WRT2050 側になっていませんか？	接続されている調光 T/U の切換スイッチを WRT2000 K側にしてください。
			伝送ユニットが WRT2050 系列以外のフル２線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作や、熱線センサが検知していませんか？	伝送ユニットに対して入出力中に､フル２線システム側のスイッチ操作や、熱線センサを検知させないでください。
	エラー（E -22）	“設定モードを解除してください”	フル２線システム側が設定状態になっていませんか？	キャンセルを押して､フル２線側のスイッチの｢設定・通常切換スイッチ｣を操作して通常モードにしてください。
	エラー（E -40）（E -41）（E -42）	“データの入力ができません”“データの出力ができません”	伝送ユニットが WRT2050 系列以外のフル２線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作されていませんか？	伝送ユニットに対して入出力中に､フル２線システム側のスイッチ操作しないでください。
			本器からフル２線システムへ入出力中に伝送ユニットの電源が切れていませんか？	伝送ユニットの電源が原因調査対策後、伝送ユニットの電源を入れ、再度入出力してください。

エラー表示		症　状 （メッセージ）	点　　検	処　　置
電波設定時	エラー （E -60）	“受信器が 見つかりません”	ワイヤレス受信器の初期設定は完了していますか？	ワイヤレス受信器の初期設定をしてください。（☞ 30 ページ）
			ワイヤレス受信器にフル 2 線信号線が接続されていますか？	フル 2 線信号線をはずしてください。
			電波の届かない位置にワイヤレス受信器を施工していませんか？	ワイヤレス受信器の近くで再度操作してください。（☞ 28ページ）
			妨害電波のある環境で使用していませんか？	妨害電波の原因を取り除いてください。（☞ 28 ページ）
	エラー （E -61）	“登録できません”	電波設定式端末の電池がなくなっていませんか？	電波設定式端末の電池を交換してください。
			電波の届かない位置にワイヤレス受信器、電波設定式端末を施工していませんか？	ワイヤレス受信器と電波設定式端末が通信できる範囲に施工してください。（☞ 28 ページ）
			妨害電波のある環境で使用していませんか？	妨害電波の原因を取り除いてください。（☞ 28 ページ）
	エラー （E -63）	“登録端末が 見つかりません”	ワイヤレス受信器の初期設定は完了していますか？	ワイヤレス受信器の初期設定をしてください。（☞ 30 ページ）
			電波の届かない位置にワイヤレス受信器を施工していませんか？	ワイヤレス受信器の近くで再度操作してください。（☞ 28ページ）
			電波設定式端末の電池がなくなっていませんか？	電波設定式端末の電池を交換してください。
			妨害電波のある環境で使用していませんか？	妨害電波の原因を取り除いてください。（☞ 28 ページ）
	エラー （E -64）	“登録数が上限のため、追加登録できません”	ワイヤレス受信器の登録上限数を超えていませんか？	不要な電波設定式端末を登録削除してください。（☞ 31 ページ）
	エラー （E -66）	“アドレス設定ができません”	正しいアドレスを設定していますか？	電波設定式端末に設定可能なアドレスを設定してください。
			電波の届かない位置にワイヤレス受信器を施工していませんか？	ワイヤレス受信器の近くで再度操作してください。（☞ 28ページ）
			電波設定式端末の電池がなくなっていませんか？	電波設定式端末の電池を交換してください。
			妨害電波のある環境で使用していませんか？	妨害電波の原因を取り除いてください。（☞ 28 ページ）
その他	アラーム	“伝送ユニットの種別がちがいます”	設定器に設定している伝送ユニットの系列が使用している伝送ユニットと異なっていませんか？	接続している伝送ユニットの系列を設定してください。 （☞ 37 ページ）

定格・仕様

<table>
<tr><td>電源</td><td colspan="3">フル2線信号と電池ではフル2線信号が優先されます。
※一部機能については、電池を使用します。
単三形アルカリ乾電池（1.5 V）× 4 本：6 V〔市販〕
・アドレス設定確認 500 回以上、電波設定確認 600 回以上、
　またはキー入力なしの状態で 5 時間使用可能
・アドレス設定・電波設定には電池が必要です。</td></tr>
<tr><td>定格入力信号電圧</td><td>± 24 V</td><td>定格信号消費電流</td><td>50 mA</td></tr>
<tr><td>信号配線方法</td><td>2 線無極性配線方式</td><td>信号伝送方法</td><td>割り込み式時分割多重伝送方式</td></tr>
<tr><td>信号周波数</td><td>10 kHz ± 1 kHz</td><td>光通信・
キャリア周波数</td><td>36.7 kHz</td></tr>
<tr><td>誤り検出方法</td><td colspan="3">奇数パリティチェック、サムチェック</td></tr>
<tr><td>発信音周波数</td><td colspan="3">4.5 kHz</td></tr>
<tr><td>アドレス設定
確認時間</td><td>約 1 秒～ 6 秒</td><td>電波ワイヤレス設定
確認時間</td><td>4 秒以内</td></tr>
<tr><td>設定機能</td><td colspan="3">パターン・グループ設定、パターンフェードの設定、
スイッチ・T/U のアドレス No.、スイッチの機能・タイマー時間
電波設定</td></tr>
<tr><td>信号形態</td><td colspan="3">[スタート信号][チャンネル信号][負荷制御信号][監視信号][エンド信号]</td></tr>
<tr><td rowspan="4">適合伝送ユニット</td><td colspan="3">WR3212 系列　フル 2 線式リモコンレイアウトフリー型伝送ユニット系列
（パターン・グループ制御内容の読み込みのみ）</td></tr>
<tr><td colspan="3">WRT2000K 系列　フル 2 線式リモコン伝送ユニット系列</td></tr>
<tr><td colspan="3">WRT2040 系列　フル 2 線式リモコン伝送ユニット
（機能拡張形）系列</td></tr>
<tr><td colspan="3">WRT2050 系列　フル 2 線式リモコン伝送ユニット（分電盤用）
（AC 100 ～ 242 V）系列</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設定・制御可能
パターン数
およびグループ数</td><td colspan="3">パターン：個別（調光）256 回路＋調光 16 回路（72 パターン）
（WRT2040 系列・WRT2050 系列の場合）</td></tr>
<tr><td colspan="3">グループ：個別（調光）256 回路＋調光 16 回路（127 グループ）
（WRT2040 系列・WRT2050 系列の場合）</td></tr>
<tr><td>制御可能
負荷回路数</td><td colspan="3">個別（調光）256 回路（63 ｃｈ× 4 回路）＋調光 16 回路
（WRT2040 系列・WRT2050 系列の場合）</td></tr>
<tr><td>無線周波数</td><td colspan="3">CH.1：426.0375MHz　CH.2：426.0625MHz
CH.3：426.0875MHz　CH.4：426.1125MHz</td></tr>
<tr><td>使用周囲温度</td><td colspan="3">0 ℃～ +40 ℃</td></tr>
</table>

アフターサービス（よくお読みください）

お取扱・お手入れなどのご相談について

お取扱・お手入れなどのご相談は、施工された工事店にご連絡ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱について

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話させていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため、記入されると便利です。	納入日	年　月　日	品番	WRT9630
	工事店名	電話（　　）　－ FAX（　　）　－		
	販売店名	電話（　　）　－ FAX（　　）　－		

お知らせ